

2022年2月18日(金) 第2862回例会 形式:対面 天候:晴れ 合唱:我らの生業

会長 室伏 学 幹事 望月 博文

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

室伏 学

先日、「万葉倶楽部」の高橋眞己専務と当例会場「ニューウェルシティ湯河原」の廣澤総支配人が私のところにご挨拶にお越しになりました。私が現在、湯河原温泉旅館協同組合の理事長を務めているからです。

湯河原温泉旅館協同組合では2006年から「湯河原温泉」という商標を地域ブランドの保護を目的に、「地域団体商標制度」で商標登録しております。

皆さんもご存知だと思いますが、万葉倶楽部グループでは既に、町田、小田原お堀端、横浜みなとみらい、はだの、沼津と、各地で「東京・湯河原温泉」、「沼津・湯河原温泉」と称して、「万葉の湯」や「万葉倶楽部」を営業展開なさっています。商標登録前から営業している既存施設には既得権があるが、新規開業するにあたっての相談ということでした。2011年頃に築地市場からの移転が決まった豊洲市場ですが、観光拠点に関して公募で一旦決まった「すしざんまい」の喜代村と大和ハウス工業の撤退や、小池都知事による移転延期表明など、「豊洲騒動」として迷走したのはご承知の通りです。その豊洲市場の隣接地で、「食を起点に日本の文化を発信」というコンセプトで、「千客万来」という施設を整備し、その中核の温泉・ホテルゾーンが「箱根・湯河原温泉 万葉倶楽部 東京豊洲」という日帰り中心の温泉入浴施設で、ようやく動き出し、2年後、2024年2月の開業を目指しているとのことでした。

前置きが長くなりましたが、「湯河原温泉」の登録商標に話を戻しますと、「指定商品又は指定役務」という項目で、『湯河原温泉地区における温泉浴場を有する宿泊施設の提供』と『湯河原温泉地区における温泉浴場施設の提供』に限定されています。「湯河原温泉地区における」と限定されていますので、町田や豊洲で「湯河原温泉」を名乗っても私たちに制限することは出来ません。しかしながら、折角の機会ですので、湯河原温泉のイメージダウンになるようなことは避けていただきたい旨、湯河原温泉の効能、歴史、観光情報等の発信へのご協力をお願いしておきました。尚、高橋眞己専務の弟さん、高橋剛司常務は小田原ロータリークラブのメンバーです。

また、仮にこの湯河原温泉地区内で、湯河原温泉旅館協同組合に加盟せずに、湯河原温泉を謳って営業している宿泊施設

があれば、商標権の侵害となります。場合によっては、損害賠償請求につながるかも知れません。皆さんの中にご存知の方がいらしたら、その宿泊施設にご忠告なさってください。よろしくお願いいたします。

出席報告

会員	26名	出席率	91.67%
欠席	4名	前回の修正出席率	88.00%
(免除者)	2名	前々回の修正出席率	87.50%
ゲスト	0名	事前メイクアップ	0名
ビジター	1名		

ビジター 第2780地区副幹事 寺田圭次君(ふじさわ湘南)

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1.2月のロータリーレート 1ドル115円

ガバナーより

1.地区大会開催のお知らせ

日時:3月20日(日)会長・幹事会

13:00~13:30 登録

場所:鎌倉パークホテル

日時:3月21日(月・祝)本会議

12:30~13:30 登録

13:30~17:29 本会議

18:00~19:30 大懇親会

場所:藤沢市民会館大ホール

連絡事項

次週もお弁当となりますので、出欠のご連絡は前日までお願いいたします。

小倉高代君

SDGs3番、12番、14番、17番、「かながわプラごみゼロ宣言」に、パソコンくらぶ おぐぼそ、ゆがわら中央高等学院、一般社団法人湯河原真鶴熱海地域活性化協会、3つ登録させていただきました。

高知尾朝行君・西山 敦君・高杉尚男君・渡辺久恭君・石川浩子君

2月15日(火)広河原稲荷の例祭と直会無事終了しました。

神谷一博君

寺田国際ロータリー第2780地区副幹事様、本日はここ湯河原ロータリークラブまでお越し戴きましてありがとうございます。

2月23日はロータリーデーなので全員でスマイル

7月1日に国際ロータリー初の女性会長に就任するジョーンズ氏は、世界中のガバナーエレクトを対象とする年次研修行事である国際協議会に先立って今回の講演を行いました。新型コロナウイルス流行のため、国際協議会は当初の日程から延期され、2月7日～14日にバーチャル形式で行われます。ジョーンズ氏は、ロータリーの力とつながりを生かした自身の体験を紹介しました。昨年、アフガニスタンからの米軍撤退が進む中、一人の会員から、ある若いアフガニスタン人の平和活動家を国外退避させるために力を貸してほしいと頼まれました。最初はどのようによいかわからなかったものの、「ロータリーの不思議な力(magic of Rotary)」を頼りに、数年前に出会った元ロータリー平和フェローに連絡。1日も経たないうちに、その活動家は退避者リストに加えられ、間もなくヨーロッパ行きの飛行機に乗ることができました。

(中略)

「私たちは、この素晴らしい組織のリーダーとしての役割を委ねられました」とジョーンズ氏。「私たちは今、果敢に、目的意識をもって行動し、リーダーシップを発揮できるかどうか問われています」

2023年までにロータリー会員基盤の30%を女性にするというRI理事会の目標達成のタイムリミットが迫っていることにも触れ、110カ国以上で既にこの目標が達成されてはいるものの、まだ先は長い、とジョーンズ氏は言います。また、ロータリーアクトでは既に会員全体の50%以上が女性であることを指摘しました。

ジョーンズ氏は、ロータリーがインパクトをもたらしている世界各地の活動を訪問する計画を立てています。この訪問では、世界の切迫した課題への取り組みで協力する方法について、各地のリーダーと協議することも予定されています。「ロータリーは、つながりを生かして協力関係を深め、新たなパートナーシップを構築していく必要がある」とジョーンズ氏。「ロータリーでは、それをあらゆるレベルで行うことができます」

「私たちには皆、夢があります。しかし、そのために行動するかどうかを決めるのは私たちです」。こう述べたジョーンズ氏は、ロータリーのような団体がポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くなら、「それを実現させる責任は自分たちにある」と語り、次のように締めくくりました。

「昨日のことをイマジン(想像)する人はいません。それは未来を描くことです」(記事 Ryan Hyland)

(本稿は2022年1月20日、RI ウェブサイトにニュース記事として配信されたものです)

(編集 2月会報担当:石川博/クラブ会報委員会)

第2回米山功労者マルチプル



望月博文君

土屋一弘君

写真提供:丸塚会員

RI ニュースレター

ジョーンズ RI 会長エレクトが 2022-23 年度会長テーマを発表



イマジン
ロータリー

ウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ(カナダ・オンタリオ州)会員であるジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長エレクトは、1月20日、次年度の地区ガバナーに向けた講演をオンラインでライブ配信し、2022-23年度の会長テーマ「イマジン ロータリー」を発表しました。ジョーンズ氏は講演の中で、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけました。

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」